2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
1	施工計画の提案について、注７）内で①②が同趣旨の提案の場合は、どちらか１項目しか評価しないとありますが、パターン１：①に対してA、B、C、②に対してAの提案をした場合、パターン２：①に対してA、②に対してA、B、Cの提案をした場合は、それぞれどう評価されますか。Aの提案は同趣旨の提案とします。	パターン１：①ではAは評価せず、②でAを評価します。ただし、設定した課題について、適切であり、評価できる場合に限り、①でBまたはCの提案は評価するものとします。 パターン２：①でAを評価し、②ではAは評価しません。ただし、設定した課題について、適切であり、評価できる場合に限り、②でBまたはCの提案は評価するものとします。
2	別表　技術評価基準表の「配置予定技術者の能力の同種工事施工経験」につきまして、主任、監理、特例管理技術者として従事した経験の「期間」に目安（工期の最初から最後まで等）はありますでしょうか。	別表 技術評価基準表の「配置予定技術者の能力の同種工事施工経験」は、主任技術者、監理技術者、特例監理技術者として工期の2分の1以上従事した経験に限ります。 なお、上記について令和8年10月16日に岡山市ホームページ「入札情報［建設工事］-重要なお知らせ」に掲載のとおり、公告文の「別表　総合評価一般競争入札（簡易型）技術評価基準表」中、「評価項目　配置予定技術者の能力」における同種工事施工経験の記載内容に不備があったため、令和8年10月16日に差替えております。一般競争入札一覧にてご確認ください。
3	質問2の回答にもよりますが、従事した経験の期間が100%（工期の最初から最後まで）でない場合、実績として認められるのは以下のどのパターンでしょうか。 従事した経験の期間の実績があり、地盤改良工である深層混合処理工法（高圧噴射撹拌方式に限る。）の ①施工期間の全てに従事している ②施工期間の一部に従事している ③施工期間に従事していない	回答2のとおり「工期の2分の1以上従事した経験」としていますが、工期途中で技術者等を交代している場合は、岡山市ホームページ「総合評価一般競争入札についてのQ&A　令和6年4月1日改訂版」Q3-7、A3-7に記載のとおり、配置予定技術者が主任技術者、監理技術者又は特例監理技術者として、評価基準に示した施工経験に該当する部分を施工したことが確認できる資料（実施工程表の写し等）が添付され、評価基準を満足していることが確認できれば、経験として認められます。 よって、当該配置予定技術者が工期の2分の1以上従事した経験があり、かつ ①評価基準に示した施工経験に該当する部分を施工した期間の全てに従事していることが資料から確認できれば経験として認められます。 ②評価基準に示した施工経験に該当する部分を施工した期間の一部に従事している場合、その従事期間中に評価基準を満足していることが資料から確認できれば、経験として認められます。 ③評価基準に示した施工経験に該当する部分を施工した期間に従事していない場合は、経験として認められません。
4	質問2・3の回答によりますが、質問3、②の場合、評価基準で求められている本数（240本、120本、・・・）は、「従事期間に施工した実績」でなければならないでしょうか。それとも、③のように「工事としての実績があれば従事期間の施工実績は問わない」のでしょうか。	回答3②のとおり、当該配置予定技術者の従事期間中に評価基準を満足していることが資料から確認できれば経験として認められます。ご質問の施工本数も含め、評価基準に記載された内容を全て満たしている必要があります。 工事全体としては評価基準を満足していたとしても、回答3③のように評価基準に示した施工経験に該当する部分を施工した期間に当該配置予定技術者が従事していない場合は、経験として認められません。
5	工事内訳書（頁0-0059）について、計測（手動）の数量（日数）を明記してください。	510日です。
6	工事内訳書（頁0-0061）について、機械経費（計測機器類）の数量（月数）を明記してください。	17月です。
7	建設汚泥及び泥土については、原地盤の土質条件によって発生量が設計数量と異なる場合があります。この場合、実際の発生量と設計数量との差異については設計変更協議の対象となるのでしょうか。ご教示ください。	工事契約後、原地盤の土質条件が設計と異なる場合は、岡山市工事請負契約約款第18条（条件変更等）による変更協議の対象とします。
8	B1-2函渠工配筋図において、D22とD29を熱間押抜工法ガス圧接により接合する仕様となっていますが、鉄筋径の差が7mmを超えています。当該仕様について問題ないものと考えてよろしいでしょうか。 また、熱間押抜工法ガス圧接の有資格者が限られており、工程に影響を及ぼすおそれがあります。受注後、施工性や工程確保の観点から、同等性能を有する他工法への変更について協議は可能でしょうか。	問題ないものと考えて下さい。 また、他工法への変更について、現場状況等によりやむを得ない事情がある場合は、岡山市工事請負契約約款第18条（条件変更等）による変更協議の対象とします。
9	現場説明書追加事項に「JR近接工事のため、列車見張員および工事管理者の有資格者を配置すること」と記載されていますが、配置が必要な有資格者は当該資格者のみと考えてよろしいでしょうか。なお、「重機械運転者」等のその他の資格者については配置不要との理解でよろしいでしょうか。	JR近接工事のための有資格者は列車見張員と工事管理者のみと考えて下さい。JR近接工事に係る「重機械運転者」等のその他の資格者については配置不要です。その他、法令上必要な機械の操作及び作業をする際には、有資格者を配置して下さい。
10	本工事は工期が4年以上にわたる長期工事となっています。近年、建設資材価格や労務単価の上昇が継続している状況を踏まえ、本工事におけるインフレスライド条項等による請負代金額の変更協議は、どのような時期および頻度で実施されるのでしょうか。ご教示ください。	岡山市ホームページ掲載の「賃金等の変動に対する工事請負契約書第２６条第６項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）　令和2年4月」に基づき運用します。
11	宍甘沼線の切回しに伴い、施工時期が分断されることが想定されますが、積算上は当該工種を連続して施工することを前提としているものと考えられます。実際の施工において、関係機関との協議等により施工時期が分断され、施工効率の低下や追加費用が生じた場合、受注後に設計変更協議の対象となるのでしょうか。ご教示ください。	関係機関協議や現場状況等によりやむを得ない事情がある場合は、岡山市工事請負契約約款第18条（条件変更等）による変更協議の対象とします。
12	宍甘沼線の施工箇所において、道路両側に架空電線があり、施工に支障を及ぼす可能性があると考えます。当該箇所については、架空電線の影響を考慮した特別な施工方法または施工条件を見込んで積算されているのでしょうか。ご教示ください。	架空電線は移設を想定しているため、特別な施工方法または施工条件は見込んでいません。
13	工事内訳表（頁0-0059）について、計測（手動）の数量（日数）を明記してください。	回答5のとおりです。
14	工事内訳表（頁0-0061）について、機械経費（計測機器類）の数量（月数）を明記してください。	回答6のとおりです。

2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
15	各工種で使用する賃料 使用するバックホウやラフタークレーンなどの賃料については、『長期割引あり』と考えてよろしいでしょうか。	建設機械の賃料については、『長期割引あり』で積算しています。
16	施工代価表275号、276号 代価表内に計上されている労務費には週休二日補正が『適用されていない』と考えてよろしいでしょうか。	施工代価表275号、276号内の労務費には、週休二日補正が適用されていません。
17	工事内訳表の仮設工に計上されている溝形鋼および等辺山形鋼について、備考欄に「損料期間3年未満」と記載されています。しかし、これらの資材は市中におけるリース品の調達が困難であり、一般的には購入材として扱われるものと考えられます。当該積算はリース材を前提としているのでしょうか。ご教示ください。	工事内訳表の仮設工に計上している溝形鋼および等辺山形鋼のうち備考欄に損料期間を記載しているものは、購入材に損料期間ごとの損料率を乗じた額を計上しています。
18	入札説明書　様式第12号、13号、14号 「以下の２点について，具体的な提案をそれぞれ１項目求める。」との記載があり、「１項目で複数の提案があっても，指定個数以上は評価（加点）しない。」との記載があります。 １項目内に複数の提案をする場合の提案の「指定個数」をご教示ください。	「指定個数」は、様式第12号、13号、14号の①および②について各々1個となります。 ただし、様式第12号の①については、騒音、振動、粉塵についての効果を出すために、それぞれ違う対策を行う場合は各1個、合計3個を「指定個数」の１個とします。1個の提案により複数の効果がある場合は、騒音、振動、粉塵のそれぞれ3個の効果がある対策を一括りとして「指定個数」の１個とします。
19	入札説明書　様式第12号、13号、14号 当該入札説明書における「項目」「提案」「指定個数」の用語の定義をご教示ください。	「項目」は、課題に対する効果が見込まれる提案です。 「提案」は、課題解決のための技術的内容です。 「指定個数」は、提案する内容の項目数で、回答18のとおりです。
20	入札説明書　様式第12号 「①の環境対策は，騒音・振動・粉塵の全てについて提案されている場合に評価する。」との記載があります。 ①の環境対策については、１項目内の提案数の「指定個数」が３個でしょうか。「指定個数」は１個で、１個の提案により騒音・振動・粉塵の全てに効果が上がる提案を求められているのでしょうか。	①の環境対策について、１項目内の提案数の「指定個数」は３個ではなく、1個となります。 騒音、振動、粉塵についての効果を出すために、それぞれ違う対策を行う場合は各1個、合計3個を「指定個数」の１個とします。 1個の提案により複数の効果がある場合は、騒音、振動、粉塵のそれぞれ3個の効果がある対策を一括りとして「指定個数」の１個とします。
21	備考欄に損料期間を表記されていない全損の鋼材のうち、「中古品」と記載されていないものは、すべて新材単価で計上されていると考えてよろしいでしょうか。中古品で見込まれているものがありましたら、ご教示ください。	備考欄に損料期間を表記されていない全損の鋼材のうち、中古品と記載がないものについては、新材単価を計上しています。中古品と記載があるもの以外で、中古品を見込んでいる鋼材はありません。
22	見積参考資料１の「３積算条件②」に掲載の「土木工事市場単価及び土木工事標準単価の適用について　令和８年５月１日適用」によると、１月発刊（冬号）の単価を適用するものとして、「鉄筋工」及び「ガス圧接孔」が対象となっています。一方で、本工事の見積参考資料２では、積算基準書の新歩掛が適用されているように見受けられます。本工事においては、見積参考資料２のとおり積算基準書の新歩掛が適用されていると考えてよろしいでしょうか。	土木工事市場単価及び土木工事標準単価の適用について(令和8年7月1日適用)を参照して下さい。また、鉄筋工については、岡山市ホームページ掲載の、令和7年度　積算基準書の一部改定について（お知らせ）（令和8年7月1日）に記載のとおり、令和8年度 土木工事標準積算基準書(岡山市)の一部先行適用の対象です。
23	「施工　第0 -0223号表」の「単管ベース　φ48.6mm用　電気めっき」はベースプレートと考えてよろしいでしょうか。	ベースプレートと考えて問題ありません。
24	「施工　第0 -0243号表」の「プレボーリング工法によるＨ形鋼打込み」は、国土交通省土木工事標準積算基準書のⅡ-5-②-48のプレボーリングを適用されていると考えてよろしいでしょうか。見積参考資料２で見込まれている杭打機の規格が基準書とは異なりますが、歩掛は積算基準書と同一とされ、機械損料を見積参考資料２の損料に入れ替えたものとして見込まれていますか。 もし、異なる歩掛を適用されている場合は、適用基準書をご教示ください。	令和7年度　土木工事標準積算基準書（岡山市）　第Ⅱ編共通工　第5章仮設工　②鋼矢板（H形鋼）　②-4プレボーリングを適用しており、積算基準書のとおり積算しています。
25	「施工　第0 -0275号表」の測量補助員、測量技師、測量技師補は週休２日の対象外と考えてよろしいでしょうか。	週休2日補正の対象外と考えて問題ありません。
26	準備費―計測（手動）の数量が数量総括表に表示されていませんが、どのように考えればよろしいでしょうか。	回答5のとおりです。
27	共通仮設費（現場・一般管理費等対象外）のうち、「産業廃棄物分析費（溶出試験）　検液作成料」は物価資料の産業廃棄物分析からの参照で見込まれていますか。	物価資料の産業廃棄物分析　溶出試験(1)　溶液作成料と、物価資料の土壌・底質・産業廃棄物分析料金　土壌調査(1)　前処理費(溶出試験)の平均価格を採用しています。
28	共通仮設費（現場・一般管理費等対象外）のうち、「産業廃棄物分析費（溶出試験）　ホウ素」は物価資料の土壌分析からの参照で見込まれていますか。	物価資料の土壌・底質・産業廃棄物分析料金　土壌調査(1)　ホウ素(溶出試験)の価格を採用しています。
29	共通仮設費（現場・一般管理費等対象外）のうち、「タンクリーチング試験　六価クロム」は物価資料の産業廃棄物分析からの参照で見込まれていますか。	物価資料の産業廃棄物分析　タンクリーチング試験　六価クロム(前処理費・検液作成料含む)と、物価資料の土壌・底質・産業廃棄物分析料金　環境庁告示第46号溶出試験　タンクリーチング試験(溶出試験)の平均価格を採用しています。
30	共通仮設費（現場・一般管理費等対象外）一機械経費（計測機器類）の数量が数量総括表に表示されていませんが、どのように考えればよろしいでしょうか。	回答6のとおりです。
31	「施工　第0 -0035号表」の建設汚泥処分費は、改良土「泥土」、建設汚泥「バキュウム」「ダンプ」「ダンプ（現場内処理済み）」の、どれを採用されていますか。	建設汚泥「バキュウム」を採用しています。
32	「その他雑品　%」と記載のある施工代価表「施工　第0 -0052号表」「施工　第0 -0053号表」「施工　第0 -0054号表」「施工　第0 -0062号表」「施工　第0 -0063号表」「施工　第0 -0064号表」は、単位当たり金額が有効桁数4桁になるよう諸雑費率内で丸めを行っていると考えてよろしいでしょうか。	施工代価表「施工　第0 -0052号表」「施工　第0 -0053号表」「施工　第0 -0054号表」「施工　第0 -0062号表」「施工　第0 -0063号表」「施工　第0 -0064号表」の「その他雑品　%」は、施工代価表の単位当たり金額が有効数字4桁になるように、その他雑品率以内で端数を計上して下さい。

2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
33	「仮設材料費　○%」と記載のある施工代価表「施工　第0 -0045号表」「施工　第0 -0046号表」は、単位当たり金額が有効桁数4桁になるよう諸雑費率内で丸めを行っていると考えてよろしいでしょうか。	施工代価表の単位当たりの金額が有効数字4桁になるように、仮設材料費率以内で端数を計上して下さい。
34	「施工　第0 -0266号表」の現場発生品運搬－スクラップ材運搬について、現場発生品運搬の適用とならないでしょうか。ご教示をお願いします。	適用となりません。
35	工事数量総括表8・9ページ 高圧噴射攪拌のJETCRETE工法は指定工法でしょうか。また、同等以上の性能を有する代替工法の提案は可能でしょうか。	本工事における高圧噴射攪拌のJETCRETE工法は、工事数量総括表および図面に「JETCRETE工法（同等品以上）」とするところ、誤って「JETCRETE工法」と記載しておりました。本工事では、「JETCRETE工法（同等品以上）」としてください。 したがって、JETCRETE工法は指定工法ではありませんが、盤ぶくれ対策であるとともに、地下水対策でもあることから、これらの対策が可能かつ同等以上の性能を有する代替工法であれば、協議に応じることは可能です。
36	工事数量総括表31・32ページ 舗装工の範囲を示した資料を提示していただけないでしょうか。	契約後、受注者に提示します。
37	工事数量総括表34ページ 地中連続壁工　SMW工法は指定工法でしょうか。また、同等以上の性能を有する代替工法の提案は可能でしょうか。	見積参考資料１に記載のとおり、地中連続壁工のSMW工法は指定仮設のため、代替工法は認められません。
38	工事数量総括表 敷鉄板の敷設範囲を示した資料を提示していただけないでしょうか。	敷鉄板の具体的な敷設範囲は示せませんが、SMW工法の掘削機およびクローラクレーン作業時の養生用として、1,524mm×6,096mm×22mmの敷鉄板24枚を見込んでいます。
39	入札説明書様式第１２号 「事業地周辺（工事影響範囲）」について、評価対象となる範囲を具体的にご教示願います。	「事業地周辺」については、工事に伴い騒音・振動・粉塵の影響が及ぶ範囲です。受注者ごとの施工方法、使用機械等で範囲は変わってくるため、具体的な範囲は示せません。
40	入札説明書様式第１２号 「近接道路」とは具体的にどの道路を指すのかご教示願います。対象道路が複数ある場合は併せてご教示願います。	「様式第12号」の「交差・近接道路」は「様式第12号　別紙１」の「交差道路」と同義です。
41	入札説明書様式第12号 「環境対策（騒音・振動・粉塵）」について、騒音・振動・粉塵それぞれに対策を提案した場合は各々評価対象となるのでしょうか。それとも、3項目を包括した1つの提案のみが評価対象となるのでしょうか。	回答20のとおりです。
42	入札説明書第１４号 課題3は品質管理方法に関する提案を求めるものと理解しておりますが、「水密性を確保する対策を求める」との記載があります。品質管理方法のみを提案すればよいのか、あるいは具体的な技術的対策についても提案を求めているのかご教示願います。	「施工計画の提案に関する参考資料」に記載のとおり、鉄筋コンクリート構造物の水密性を確保する対策については、コンクリート構造物の継手部、打継目等の構造上、漏水リスクが高い箇所への具体的な技術的対策を提案した上で、その対策を確認するための品質管理方法を提案してください。
43	設計図面279/280施工順序図 施工順序図STEP2において国道２５０号線から測点N.7+10.5までは進入路となっていますが、この進入路に提案に関する設備などを設置することは可能でしょうか。	一部において一般通行を承諾しているため、道路構造令の「普通自動車」が測点No.7+10.5から国道250号まで通行するための通路を確保できる範囲であれば、設備等を設置することは可能です。
44	現場施工範囲外周の仮囲いの設置は予定されているでしょうか。設置予定の場合、その使用と設置範囲をご教示願います。	当該工事では、仮囲いは見込んでいません。
45	現場環境改善費(率分)の計上は、『なし』と考えてよろしいでしょうか。	『なし』と考えて下さい。
46	工事内訳書頁0 - 0005 廃プラスチック処分費について最終処分と記載されていますが、処分方法は埋立処分と焼却処分のいずれでしょうか。ご教示をお願いいたします。	埋立処分を見込んでいます。
47	工事内訳書頁0 - 0016　他 鉄筋工について本工事において、鉄筋工の積算方法は、令和8年度 土木工事標準積算基準書(岡山市)の一部先行適用の対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示をお願いいたします。	岡山市ホームページ掲載の、令和7年度　積算基準書の一部改定について（お知らせ）（令和8年7月1日）に記載のとおり、令和8年度 土木工事標準積算基準書(岡山市)の一部先行適用の対象です。
48	工事内訳書頁0 - 0039　他 等辺山形鋼（SS400）　中形厚(7,10)辺90, 厚(7,10)辺100について月積み価格と市中価格のどちらを採用されているのでしょうか。ご教示をお願いいたします。	市中価格を採用しています。
49	工事内訳書頁0 - 0059 準備費　計測(手動)の日数についてどのくらいの期間を想定されていますか。ご教示をお願いいたします。	回答5のとおりです。
50	工事内訳書頁0 - 0061 共通仮設費(現場・一般管理費等対象外)　機械経費(計測機器類)の月数についてどのくらいの期間を想定されていますでしょうか。ご教示をお願いいたします。	回答6のとおりです。
51	施工計画の提案の各様式に記載の文字について、「文字サイズは本文9pt以上」とありますが、①文字のフォント②行間や文字間隔③文字数　の指定はありますでしょうか。ご教授願います。	「文字サイズは本文9pt以上」とありますが、①文字のフォントについてはひらがな、漢字が全角となるものに限ります。②行間や文字間隔および③文字数の指定はありません。
52	施工計画の提案の各様式について、「とじ代として長辺左側に20mmの余白を確保するものとする。」とありますが、長辺上側、長辺右側、長辺下側の余白の指定はないとの認識でよろしいでしょうか。ご教授願います。	施工計画の提出様式について、短辺上側、長辺右側、短辺下側の余白の指定はありません。

2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
53	施工計画の提案の各様式について、「提案は①及び②についてそれぞれ1項目求めることとしているが，①②が同趣旨の提案の場合は、どちらか１項目しか評価しない。」とありますが、下記の例の場合は同趣旨の提案に該当するのでしょうか。 施工時における地下水対策について ①地盤改良工（盤ぶくれ対策のための地盤改良工を指す）において、高圧噴射攪拌の鉛直精度を向上させる提案 ②地中連続壁工において、地中連続壁工の鉛直精度を向上させる提案	同じ手法により鉛直精度を向上させる提案内容の場合は、同趣旨に該当します。 異なる手法により鉛直精度を向上させる提案内容の場合は、同趣旨には該当しません。
54	本工事の工程表についてご提示いただけないでしょうか。	契約後、受注者に提示します。
55	宍甘沼線の切回し後の一般供用桟橋に安全設備等を設置することは、「評価しない」提案に該当するのでしょうか。ご教授願います。	宍甘沼線の切回し後の一般供用桟橋に安全設備等を設置することは、様式第12号の②交差・近接道路の安全対策に資する提案であれば評価対象とします。ただし、様式第12号の注１）～注９）に基づいて評価します。
56	数量総括表に「地盤改良工　固結工　高圧噴射攪拌　ＪＥＴＣＲＥＴＥ工法」とありますが、ＪＥＴＣＲＥＴＥ工法と同等の性能を有する高圧噴射攪拌の他の工法に変更することは可能でしょうか。ご教授願います。	回答35のとおりです。
57	１） 施工に関する課題に係る技術的所見（その１）　事業地周辺の環境対策について、「①の環境対策は，騒音・振動・粉塵の全てについて提案されている場合に評価する」とありますが、騒音対策にA技術、振動対策にB技術、粉塵対策にC技術を記載した場合、「注１）１項目で複数の提案があっても，指定個数以上は評価（加点）しない。」に該当いたしますでしょうか。ご教授願います。	回答20のとおりです。
58	３）品質管理に係る技術的所見　鉄筋コンクリート構造物の品質管理について、構造上，漏水リスクが高い箇所への対策として仮設土留めの中間杭を削減することは評価の対象でしょうか。ご教授願います。	構造上、漏水リスクが高い箇所への対策として仮設土留めの中間杭を削減することは、様式第14号の①および②の対策に資する提案であれば評価対象とします。ただし、様式第14号の注１）～注８）に基づいて評価します。
59	関係機関の協議等、第三者との調整を要する施工計画の提案は、評価しない提案でしょうか。ご教授願います。	関係機関の協議等、第三者との調整を要する施工計画の提案は、履行の確実性、実行性に疑義がある内容に該当するため評価しません。
60	工事内内訳書　P59　計測（手動）の計上日数が不明です。計上日数をご教示ください。	回答5のとおりです。
61	工事内内訳書　P61　機械経費（計測機器類）「1級トータルステーション NET05AXⅡ同等品以上」について、計上月数が不明です。計上月数をご教示ください。	回答6のとおりです。
62	施工第0-0041号表　セメントサイロ（鋼製溶接構造、容量30t、排出能力20t/h）について、備考欄に「（9）欄」と記載されていますが、機械損料表には該当する損料が掲載されていません。積算方法をご教示ください。	令和7年度版　建設機械等損料表　05基礎工事用機械　0562高圧噴射攪拌式地盤改良機　999［0562-110~310付属機器］060-030セメントサイロ(鋼製溶接構造)容量30t排出能力20t/hの(9)欄を見込んでいます。
63	入札説明書１６（１）③ 「入札保証金を免除することができる者」の記載がありますが、開札日の前日から過去３年の間に，貴市との間で締結した契約がない場合は、入札保証金は免除となるでしょうか。また、入札保証金が免除となった場合、入札保証保険契約の締結も免除と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	入札説明書16(1)③のとおり、以下の①又は②のいずれかに該当する場合は入札保証金が免除となります。 ①開札日の前日から過去3年の間に，本市との間で締結した契約を履行しないこと，本市から契約の相手方とされたにもかかわらず契約を締結しないこと等がなく，契約を締結しないこととなるおそれがないと認められる者 ②入札保証保険契約を締結した者 ご質問の「開札日の前日から過去3年の間に本市との間で締結した契約がない」場合は、「本市から契約の相手方とされたにもかかわらず契約を締結しないこと等，契約を締結しないこととなるおそれがない」と認められるため、入札保証金が免除となります。なお、入札保証金が免除の場合、入札保証保険契約の締結は不要です。
64	現場環境改善費 本工事において現場環境改善費は計上しているとの認識でよろしいでしょうか。相違がある場合は、ご教示願います。	回答45のとおりです。
65	長期割引 本工事において賃料および損料に長期割引(減額補正)を適用している項目の有無をご教示願います。適用している項目がある場合は、対象項目および適用内容をご教示願います。	建設機械の賃料については，長期割引を行った賃料で積算しています。備考欄に損料期間について明示がある場合は、損料率を適用して積算して下さい。賃料の減額補正については、見積参考資料1の3積算条件に基づき積算して下さい。
66	鋼材の中古価格 本工事において工事数量総括表および見積参考資料等に中古の記載がない鋼材については、新品を採用しているとの認識でよろしいでしょうか。相違がある場合は、中古を採用している対象項目をご教示願います。	お見込みのとおりです。
67	大口価格 本工事において使用している資材について、特記のないものは全て大口価格を採用しているとの認識でよろしいでしょうか。相違がある場合は、対象項目および採用している価格条件をご教示願います。	お見込みのとおりです。
68	産業廃棄物処理税 本工事における産業廃棄物処理税の算定方法について、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①最終処分場に搬入する産業廃棄物1tにつき1,000円を計上(0.01t単位で算出)。 ②物価資料等に掲載されている単価を採用(その場合は単価算出の根拠(見積、物価資料等) および採用年月がございましたらご教示願います。)。 ③その他、上記以外の方法で計上(その場合は計上方法をご教示願います)。	産業廃棄物処理税の算定方法は、見積参考資料1の7その他(6)のとおりです。 単価採用年月は見積参考資料1の3積算条件のとおりです。
69	産業廃棄物処理税の経費控除 本工事における産業廃棄物処理税について、経費控除の設定有無をご教示願います。また、経費控除を設定している場合は、その控除方法をご教示願います。	見積参考資料1の7その他(11)のとおりです。
70	見積参考資料　18頁　施工第18号表　廃プラスチック処分費 『廃プラスチック処分費』において採用している処分単価をご教示願います。 あわせて、単価算出の根拠(見積、物価資料等) および採用年月がございましたら、ご教示願います。	物価資料に掲載の、埋立の廃プラスチック類の平均価格を採用しています。 単価採用年月は見積参考資料1の3積算条件のとおりです。

2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
71	見積参考資料　43頁　施工第42号表　JETCRETE-G造成用機械損料(供用日) 『セメントサイロ鋼製溶接構造容量30t排出能力20t/h』において採用している機械損料は、建設機械等損料表に掲載されている下記①、②のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①基礎工事用機械 ②ダム施工機械 上記以外で計上をしている場合は、採用単価および計上方法をご教示願います。	回答62のとおりです。
72	見積参考資料　49頁　施工第47号表　薬液注入工(二重管ﾀﾞﾌﾞﾙﾊﾟｯｶｰ・削孔) 本歩掛における削孔長19mについてレキ質土、砂質土および粘性土の土質区分別の削孔延長をご教示願います。	各土質の削孔延長は、粘性土5.929m、砂質土0.886m、レキ質土12.192mを見込んでいます。 ただし、その削孔長から算出した1本当りの削孔時間が見積参考資料2の削孔時間と異なる場合でも、見積参考資料2の削孔時間に基づき積算して下さい。
73	見積参考資料　53頁　施工第 51 号表　薬液注入管材料 本歩掛に計上されている「硬質ポリ塩化ビニル管」について、「m換算」と備考されていますが、「岡山市公共工事設計資材単価表(令和8年5月)」に基づき算定しているとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している単価および算定方法をご教示願います。	お見込みのとおりです。 単価採用年月は見積参考資料1の3積算条件のとおりです。
74	見積参考資料　64頁　施工第62号表　削孔消耗材料費レキ質土複相 本歩掛における施工代価表の計上単位は、1m当りとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している計上単位をご教示願います。	お見込みのとおりです。
75	見積参考資料　65頁　施工第63号表　削孔消耗材料費粘性土複相 本歩掛における施工代価表の計上単位は、1m当りとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している計上単位をご教示願います。	お見込みのとおりです。
76	見積参考資料　66頁　施工第64号表　注入消耗材料費 本歩掛における施工代価表の計上単位は、1L当たりとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している計上単位をご教示願います。	1000L当たりです。
77	見積参考資料　72頁　施工第70号表　基礎砕石工 本歩掛は「土木工事標準積算基準書(令和7年度)」に掲載されている共同溝工の基礎砕石工施工歩掛を採用しているとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している歩掛およびその出典をご教示願います。	お見込みのとおりです。
78	見積参考資料　92頁　施工第90号表　ダウエルバー取付 本歩掛は、「土地改良工事積算基準(令和7年度)」に掲載されている「ダウエルバー取付」の施工歩掛を採用しているとの認識ですが、当該歩掛の適用範囲はD25までと理解しております。 一方、本工事で使用する鉄筋径はD29～D32であることから、人工等については基準歩掛の値をそのまま採用しているとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している歩掛および補正内容をご教示願います。	お見込みのとおりです。
79	見積参考資料　160頁　施工第155号表　場所打杭工(ダウンザホールハンマエ) 本歩掛に計上されている「コンクリート用砂」の規格は、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①コンクリート用砂(荒目) ②コンクリート用砂(細目) ③その他、上記以外の規格で計上(その場合は計上方法をご教示願います)。	具体的に何番に該当するかはお答えできません。岡山県公共工事設計資材単価表の事務所別単価一覧表〇骨材等（４－２　事務所別骨材（新材・再生材））の「砂　コンクリート用　備前」の単価を採用しています。
80	見積参考資料　160頁　施工第155号表　場所打杭工(ダウンザホールハンマエ) 本歩掛に計上されている「コンクリート用砂」の単価は、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①岡山市公共工事設計資材単価を採用 ②物価資料(建設物価、積算資料等)掲載単価の平均を採用 ③その他、上記以外を採用(その場合は採用単価および出典をご教示願います)	回答79のとおりです。
81	見積参考資料　196頁　施工第185号表　覆工板(鋼製滑り止め補強型)賃料 本歩掛における覆工板賃料の算定について、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①賃料の減額補正を計上している。 ②賃料の減額補正を計上していない。 ③その他、上記以外の方法で計上(その場合は賃料の算定方法をご教示願います)。	具体的に何番に該当するかはお答えできません。見積参考資料1の3積算条件に基づき積算して下さい。
82	工事数量総括表　42頁　仮設工　仮橋・仮桟橋工　仮設高欄 『仮設防護柵設置工仮設防護柵設置』において使用している単価は、「仮設ガードレール設置工 設置(土木コスト情報および土木施工単価の平均)」を採用しているとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している単価およびその出典をご教示願います。	物価資料に掲載の、仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）仮設防護柵設置工　仮設防護柵設置　　H鋼基礎　時間的制約無の平均価格を採用しています。
83	工事数量総括表　42頁　仮設工　仮橋・仮桟橋工　仮設高欄 『仮設防護柵設置工仮設防護柵撤去』において使用している単価は、「仮設ガードレール設置工 撤去(土木コスト情報および土木施工単価の平均)」を採用しているとの認識でよろしいでしょうか。 相違がある場合は、採用している単価およびその出典をご教示願います。	物価資料に掲載の、仮設防護柵設置工（仮設ガードレール）仮設防護柵設置工　仮設防護柵撤去　　H鋼基礎　時間的制約無の平均価格を採用しています。

2026031178-30　県道岡山赤穂線（３工区）U型擁壁等築造工事（その１）

番号	質問内容	回答
84	見積参考資料　234頁　施工第223号表　高欄(材料費) 「ピン加工費(ピン材料費含む)」において採用している単価をご教示願います。 あわせて、単価算出の根拠(見積、物価資料等）および採用年月がございましたら、ご教示願います。	物価資料に掲載の、単管足場類　ピン加工費を採用しています。 単価採用年月は見積参考資料1の3積算条件のとおりです。
85	見積参考資料　259頁　施工第248号表　H型鋼300型賃料 本歩掛における仮設材賃料の算定について、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①賃料の減額補正を計上している。 ②賃料の減額補正を計上していない。 ③その他、上記以外の方法で計上(その場合は賃料の算定方法をご教示願います)。	具体的に何番に該当するかはお答えできません。見積参考資料1の3積算条件に基づき積算して下さい。
86	見積参考資料　261頁　施工第250号表　鋼製山留材賃料 本歩掛における仮設材賃料の算定について、下記①～③のいずれでしょうか。ご教示願います。 ①賃料の減額補正を計上している。 ②賃料の減額補正を計上していない。 ③その他、上記以外の方法で計上(その場合は賃料の算定方法をご教示願います)。	具体的に何番に該当するかはお答えできません。見積参考資料1の3積算条件に基づき積算して下さい。
87	工事数量総括表　59頁　準備費　計測(手動) 『計測(手動)』について、採用している数量（日数）をご教示願います。	回答5のとおりです。
88	工事数量総括表　60頁　共通仮設費(現場・一般管理費等対象外)　産業廃棄物分析費(溶出試験)ホウ素 『産業廃棄物分析費(溶出試験)ホウ素』について、採用している単価をご教示願います。 あわせて、単価算出の根拠(見積、物価資料等）および採用年月がございましたら、ご教示願います。	回答28のとおりです。
89	工事数量総括表　61頁　共通仮設費(現場・一般管理費等対象外)　機械経費(計測機器類) 『機械経費(計測機器類)』について、採用している数量（月数）をご教示願います。	回答6のとおりです。
90	様式第１２号から１４号の提出枚数は各１枚で、その１枚の中に①及び②の提案を記載する　との理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
91	地盤改良工として、スラリー攪拌工(エポコラム工法)・高圧噴射攪拌(JETCRETE工法)・薬液注入工(二重管ダブルパッカー)などが計上されていますが、現地条件など相違がある場合、工法等について協議対象でしょうか。ご教示願います。	工事契約後、原地盤の土質条件が設計と異なる場合は、岡山市工事請負契約約款第18条（条件変更等）による変更協議の対象とします。
92	施工代価表　第0 -0055号表の「注入用部品類　%」は、施工代価表の単位当たり金額が有効数字4桁になるように、注入用部品類率以内で端数を計上していると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
93	工事数量総括表7.8ページ スラリー攪拌　エポコラム工法　エポコラムtaf工法は指定工法でしょうか。また、同等以上の性能を有する代替工法の提案は可能でしょうか。	本工事におけるエポコラムtaf工法は、工事数量総括表および図面に「エポコラムtaf工法（同等品以上）」とするところ、誤って工事数量総括表では「エポコラムtaf工法」、図面では「エポコラム工法」と記載しておりました。本工事では、「エポコラムtaf工法（同等品以上）」としてください。したがって、エポコラムtaf工法は指定工法ではないため、同等以上の性能を有する代替工法であれば、協議に応じることは可能です。